小林市立病院
Kobayashi city Hospital

院内NEWS
No.45
平成 27 年 8 月 26 日発行
発行／小林市立病院

MERS（マーズ）対応訓練を行いました

7 月 28 日当院にて、小林保健所、西諸広域消防本部と合同で MERS 対応訓練を行いました。

訓練の流れは韓国から帰国した 40 代男性が、帰国後 10 日目に 38.5℃の発熱があり、MERS 患者と接触した可能性があると想定。疑似症患者本人が小林保健所へ連絡したところから訓練が始まりました。

当院 小会議室を自宅と仮定し、各関係機関が連絡を取り合って小林市立病院へ搬送。病院到着後は二次感染防止のため、診察室、病室への移動などの手順を詳細に確認しました。

今回の訓練を通じて、各自の役割や各機関との連携について確認でき、大変有意義なものとなりました。

① 疑似症患者から連絡を受けた小林保健所の職員が患者自宅にて面接。

面接中に呼吸苦の増悪があり消防本部へ救急搬送の要請。

② 救急搬送の要請を受け、防護具を着用し患者自宅に到着。状況確認後、小林市立病院に受け入れ要請。

③ 小林市立病院へ受け入れ決定。院内では連絡体制を整え、スタッフに周知。外来感染症室受け入れ準備、来院患者の誘導を開始する。

④ 救急車到着。患者を感染症専用入り口から感染症室に受け入れる。

担当医師は救急隊より状況を確認する。

⑤ 指示された検体を看護師が採取する。保健所職員は回収容器を開けた状態で受け取り、封を閉める。MERS 検査結果は 6 時間後。

⑥ 放射線技師は医師の指示によりポータブル装置でレントゲン撮影する。フィルムは感染防止のためビニールで覆ったものを使用。

⑦ 感染症室へ入院決定。アイソレーター※へ移乗しプライバシー保護のためシートで覆いながら移送する。エレベーターは専用運転で使用する。

※ アイソレーターとは接触感染を防ぐための搬送用具で、写真は車イス型 を使用しています。

⑧ 感染症室へ到着。6 時間が経過した設定で MERS の検査結果が陽性と判明。高次機能医療機関への転院が決定する。

⑨ アイソポットを使用した転院搬送となる。

今回の訓練はここまで行いました。

※ アイソポットとは接触感染を防ぎながら搬送できる担架です。